



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ  
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	107,604	2.7	8,108	△17.3	8,264	△16.0	5,175	△15.4
28年3月期第3四半期	104,759	8.7	9,804	2.4	9,837	1.8	6,114	6.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,329百万円 (△11.7%) 28年3月期第3四半期 6,036百万円 (4.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	172.02	—
28年3月期第3四半期	202.26	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	78,406	33,999	42.9	1,153.02
28年3月期	63,877	33,760	52.8	1,117.23

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 33,642百万円 28年3月期 33,755百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	58.00	78.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	2.9	9,092	△17.9	9,200	△17.7	5,200	△19.9	172.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	30,213,676 株	28年3月期	30,213,676 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,035,935 株	28年3月期	73 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	30,085,166 株	28年3月期3Q	30,228,378 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から12月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策によって企業収益と雇用環境に穏やかな改善が見られました。しかしながら金融資本市場の変動や不安定な為替動向による企業業績への影響懸念、英国の欧州連合(EU)離脱問題や中国をはじめとするアジア新興国の景気下ぶれリスクなど、先行き不透明な状況が継続しています。家計消費支出もマイナスが続き、消費マインドも軟調な推移となりました。

衣料品小売業界においても、消費者物価の上昇や景況感への不安を背景にお客様の節約志向や慎重な購買行動が継続しています。特に晩夏から秋にかけては例年よりも高い気温推移や相次ぐ台風の上陸などの不安定な気象動向が衣料消費に響き、11月以降の気温低下で一部回復基調は見られたものの、非常に厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社は平成29年3月期の単年度経営方針として「お客様大満足から大感動へ!」を掲げており、この達成に向け「ココロを動かすモノ作り:基本商品政策の励行による企画MD力向上」、「驚くほど便利で使いやすいEC:UAにしか出来ないECサービスのご提供」、「感動レベルの接客体験:創造的商人を輩出する風土づくり」の3つの重点取組施策を定めました。実店舗とネット通販を自由に使い分け、いつでもどこでも欲しい商品を手に入れる現在において、商品を購入すること以上の心に響く感動をお客様に提供いたします。

「ココロを動かすモノ作り:基本商品政策の励行による企画MD力向上」では、基本商品政策の見直しによる商品力強化に加え、当社グループのブランドポートフォリオ再整備によるMDの最適化に向けた取り組みに着手しました。グリーンレベルリラクシング事業では、気温に応じて商品をきめ細かく投入する商品企画サイクルの運用精度を上げたことで夏から秋へのシーズン端境期においても堅調に推移したのに加え、クールビズや式典需要などへの機会対応の強化により安定した実績を残しました。

「驚くほど便利で使いやすいEC:UAにしか出来ないECサービスのご提供」では、売れ筋商品を中心にネット通販店舗への在庫供給を増やして販売機会ロスを軽減させた結果、当第3四半期累計期間の単体ネット通販売上高前年同期比は24.2%増となりました。8月には自社ハウスカード会員とオンラインストア会員の統合とポイントサービスの一元化を行い、会員数の増加と売上の向上につなげています。

「感動レベルの接客体験:創造的商人を輩出する風土づくり」については、先輩社員が新入社員に教育を行うエドゥケーター・スチューデント制度の再構築に向けた社内調査と素案作成を進めました。各事業においても店長研修などの教育を行い、接客力向上に向けた取り組みを進めています。

出退店では、ユニテッドアローズ事業:5店舗の出店、2店舗の退店、グリーンレベルリラクシング事業:1店舗の出店、1店舗の退店、スモールビジネスユニット:2店舗の出店、4店舗の退店、アウトレット:2店舗の出店、1店舗の退店を実施しました。なお、10月1日付けの会社分割による当社連結子会社のCHROME HEARTS JP 合同会社へのクロムハーツ事業の承継に伴い、同事業の10店舗については、同子会社の運営に移りました。以上の結果、当第3四半期累計期間末の小売店舗数は222店舗、アウトレットを含む総店舗数は246店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴは、売上高が若干前年同期を下回ったものの、為替の影響等により売上総利益率が改善した結果、増益となりました。なお1店舗の退店により当第3四半期累計期間末の直営店舗数は17店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月:1月)は、ネット通販が好調に推移したものの、実店舗の販売が苦戦し、値引き販売が増加した結果、増収減益となりました。なお出退店では8店舗の出店を実施し、当第3四半期累計期間末の店舗数は87店舗となりました。

連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月:1月)は、SNSの活用による販売促進や台湾のお客様の嗜好に合わせた商材の展開等により、概ね計画に沿った業績進捗となりました。また、第2四半期より台湾において自社ECサイトをオープンいたしました。なお、当第3四半期累計期間末の店舗数は3店舗です。

連結子会社の株式会社 Designs(決算月:1月)は、10月に高感度ウィメンズブランド「ブラミンク」の第1号店をオープンし、当第3四半期累計期間末の店舗数は1店舗となりました。

平成28年7月1日に設立した連結子会社のCHROME HEARTS JP 合同会社(決算月:12月)については、前述のとおり株式会社ユナイテッドアローズからのクロムハーツ事業の承継に伴い、同事業の10店舗について10月1日付けで当連結子会社の運営に移っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高については、新店出店に伴う増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比2.7%増の107,604百万円となりました。なお、株式会社ユナイテッドアローズにおける小売+ネット通販既存店売上高前期比は101.3%となりました。売上総利益率は為替の影響等により、前年同期から0.2ポイント改善し52.6%となり、売上総利益額は前年同期比3.2%増の56,595百万円となりました。販売費及び一般管理費は、グループ各社の欠員補充等に伴う人件費の増、㈱ユナイテッドアローズの大型出店等に伴う宣伝販促費の増等により前年同期比7.6%増の48,486百万円となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は8,108百万円(前年同期比17.3%減)、経常利益は8,264百万円(前年同期比16.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,175百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して12,977百万円(30.6%)増加の55,345百万円となりました。これは、現金及び預金が826百万円、商品が6,638百万円、未収入金が4,554百万円、それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が101百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,550百万円(7.2%)増加の23,061百万円となりました。これは、出店などにより建物及び構築物が998百万円、無形固定資産が134百万円、差入保証金が138百万円、それぞれ増加したことなどによります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して11,494百万円(46.0%)増加の36,459百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2,922百万円、短期借入金が8,300百万円、1年内返済予定の長期借入金が2,000百万円、それぞれ増加した一方、未払法人税等が1,308百万円、賞与引当金が700百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して2,794百万円(54.2%)増加の7,947百万円となりました。これは、資産除去債務が291百万円、長期借入金が2,497百万円、それぞれ増加したことなどによります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して239百万円(0.7%)増加の33,999百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により5,175百万円増加した一方、配当金の支払により2,356百万円減少したこと、自己株式が取得により3,091百万円増加したこと、などによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月28日に発表した、平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,027	6,854
受取手形及び売掛金	245	144
商品	23,473	30,112
貯蔵品	492	575
未収入金	9,803	14,358
その他	2,334	3,307
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	42,367	55,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,896	8,895
その他(純額)	1,761	1,880
有形固定資産合計	9,658	10,775
無形固定資産		
その他	1,850	1,984
無形固定資産合計	1,850	1,984
投資その他の資産		
差入保証金	8,398	8,536
その他	1,625	1,786
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	10,001	10,300
固定資産合計	21,510	23,061
資産合計	63,877	78,406
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,495	12,418
短期借入金	2,150	10,450
1年内返済予定の長期借入金	2,004	4,004
未払法人税等	2,312	1,004
賞与引当金	1,588	888
役員賞与引当金	8	1
その他	7,405	7,692
流動負債合計	24,964	36,459
固定負債		
長期借入金	1,992	4,489
資産除去債務	3,148	3,440
その他	11	18
固定負債合計	5,152	7,947
負債合計	30,117	44,406
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,128
利益剰余金	26,712	29,499
自己株式	△0	△3,092
株主資本合計	33,838	33,565

その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△105	39
為替換算調整勘定	22	37
その他の包括利益累計額合計	△82	76
非支配株主持分	4	357
純資産合計	33,760	33,999
負債純資産合計	63,877	78,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	104,759	107,604
売上原価	49,903	51,008
売上総利益	54,856	56,595
販売費及び一般管理費	45,051	48,486
営業利益	9,804	8,108
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	-
為替差益	6	96
仕入割引	42	45
受取賃貸料	14	15
その他	65	68
営業外収益合計	133	226
営業外費用		
支払利息	33	29
賃貸費用	14	14
自己株式取得費用	33	3
その他	20	22
営業外費用合計	100	70
経常利益	9,837	8,264
特別利益		
投資有価証券売却益	64	-
特別利益合計	64	-
特別損失		
固定資産除却損	37	75
減損損失	307	379
投資有価証券評価損	15	0
その他	4	13
特別損失合計	365	468
税金等調整前四半期純利益	9,536	7,795
法人税、住民税及び事業税	3,066	2,664
法人税等調整額	357	△39
法人税等合計	3,424	2,625
四半期純利益	6,111	5,170
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,114	5,175

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	6,111	5,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	-
繰延ヘッジ損益	△47	144
為替換算調整勘定	3	14
その他の包括利益合計	△74	159
四半期包括利益	6,036	5,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,039	5,334
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,536	7,795
減価償却費	1,316	1,366
無形固定資産償却費	135	162
長期前払費用償却額	103	205
減損損失	307	379
賞与引当金の増減額(△は減少)	△728	△699
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△3
受取利息及び受取配当金	△4	△0
支払利息	33	29
売上債権の増減額(△は増加)	△3,834	△3,140
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,350	△6,721
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△209	△1,999
仕入債務の増減額(△は減少)	4,851	3,477
その他の流動負債の増減額(△は減少)	362	482
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△0	11
その他	△39	184
小計	7,467	1,524
利息及び配当金の受取額	4	0
利息の支払額	△33	△29
法人税等の支払額	△2,901	△4,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,536	△2,526
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	226	-
貸付けによる支出	-	△18
有形固定資産の取得による支出	△1,598	△2,914
資産除去債務の履行による支出	△102	△113
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△193	△345
長期前払費用の取得による支出	△72	△540
差入保証金の差入による支出	△525	△544
差入保証金の回収による収入	110	406
その他	0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,164	△4,077
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,050	8,300
長期借入れによる収入	-	6,000
長期借入金の返済による支出	△1,503	△1,503
自己株式の取得による支出	△1,418	△3,095
配当金の支払額	△2,317	△2,294
非支配株主からの払込みによる収入	10	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,179	7,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△804	817
現金及び現金同等物の期首残高	5,585	5,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,781	6,617

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したCHROME HEARTS JP 合同会社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、平成28年10月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,035,800株を取得し、この結果、自己株式が3,091百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が3,092百万円となっております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、平成28年10月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、以下のとおり取得いたしました。

1. 取得の理由

資本効率の向上、経営環境の変化に応じた機動的な資本政策の遂行

2. 取締役会決議の内容

- (1) 取得する株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 取得する株式の数 : 3,000,000株 (上限)
- (3) 株式取得価額の総額 : 6,000百万円 (上限)
- (4) 自己株式取得の期間 : 平成28年11月7日から平成29年3月31日
- (5) 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付

3. 自己株式の取得状況

- (1) 取得した株式の種類 : 当社普通株式
  - (2) 取得した株式の数 : 390,000株 (注)
  - (3) 株式取得価額の総額 : 1,303百万円 (注)
  - (4) 取得した株式の累計 : 1,425,800株
  - (5) 株式取得価額の累計 : 4,394百万円
  - (6) 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付
- (注) 平成29年1月1日から平成29年1月31日までの取得実績を記載しております。